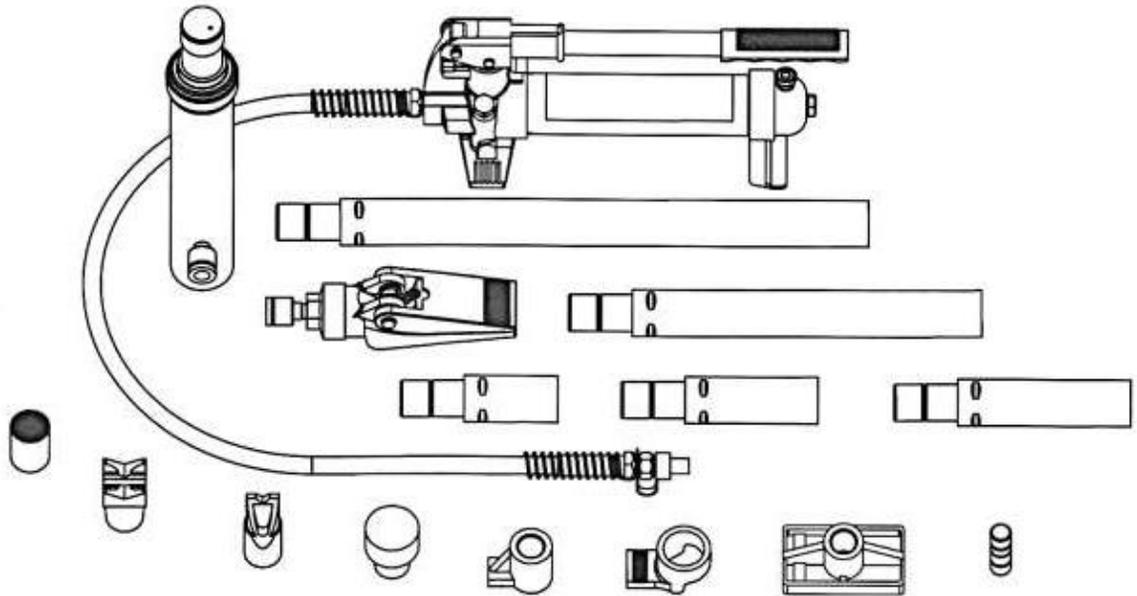


ボディーリペアキット 取扱説明書



この度は、ボディーリペアキットをお買い上げいただきありがとうございます。
本製品を安全にご使用いただくために必ずこの「取扱説明書」をよく読み、理解した上でご使用ください。
また、いつでも読むことができるよう大切に保管してください。

■ 諸元

モデル	T70401 4t ボディーリペアキット	T71001L 10t ボディーリペアキット
油圧能力(最大荷重)	4t	10t
ラムストローク	100 mm	152 mm
油圧ホース全長	185 mm	
セット総重量	20.5 kg	38.0 kg
ケース	鉄ケース	プラスチックケース(タイヤ付き)

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 製品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害(事業利益の損失、逸失利益、事業の中断等)に関して、当社は一切責任を負いません。
- この「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない機器との組み合わせによる誤作動、故障等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

安全に対する危険・警告・注意事項

作業者は必ず本製品を熟知した上で、ご使用下さい。本説明書の危険・警告・注意事項をよく読み、正しく理解してから使用してください。怠った場合、死亡または重症等、重大な事故の危険があります。また、本製品の故障・破損の原因になります。

危険

本製品は、状況に応じてアタッチメント類を選択する汎用設計になっています。使用の前に対象物や周囲の状況を把握し、必ず安全を確保した上で作業を行ってください。

警告

1. この「取扱説明書」をよく読み、よく理解した上でご使用下さい。また、本製品を熟知した専任の作業員以外での使用は絶対にしないでください。重大な事故が起こる危険性があります。
2. 本製品に使用するアタッチメントは、専用品以外のものを絶対に使用しないでください。作業中に外れたり、破損して重大な事故が起こる可能性があります。
3. 使用時は対象物に対し、適切なアタッチメントを選択してください。間違ったアタッチメントは作業中に外れたり、破損して重大な事故が起こる可能性があります。
4. ラムにテンションがかかった状態で、放置しないでください。アタッチメントが外れ、事故が起こる可能性があります。
5. 作業を行う際は、必ず安全防具（安全ゴーグル、ヘルメット、安全つなぎ、安全手袋、安全靴等）を着用してください。作業者は必ず自身や周囲の安全を確保してください。
6. 本製品の耐荷重以上の負荷のかかる使用をしないでください。人身事故・車両の破損・本製品の故障の原因になります。
7. 分解・改造等は絶対にしないでください。異常や違和感がある場合は、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

注意

1. 使用前に、始業点検をしてください。
2. エンジンを始動したままでの作業はしないでください。
3. 車両ごとの修理書を確認し、適正な位置に確実にかけてください。
4. ラムの伸縮は、必ず周りの安全を確認してから行って下さい。縮める時はハンドルをゆっくりと回してください。また、最大ストローク以上伸ばさないでください。
5. 水気のある場所での作業、保管はしないでください。屋外での保管は故障の原因になります。また、ラムと油圧ホースの接続部には、必ず付属のキャップを接続して保管してください。

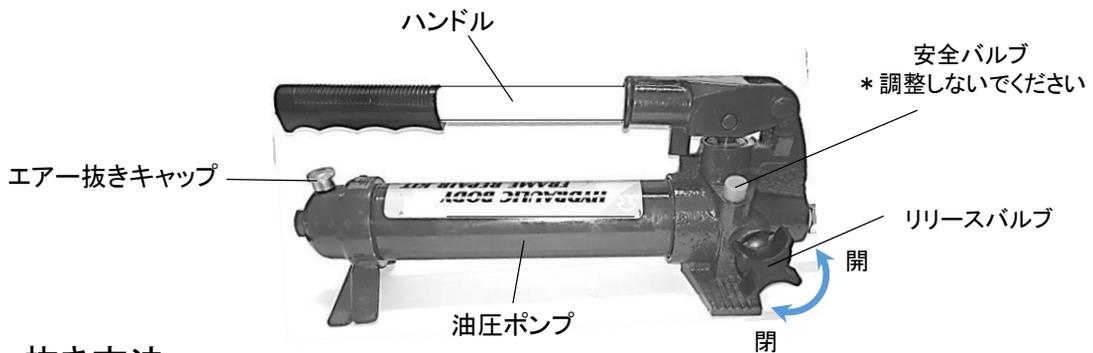
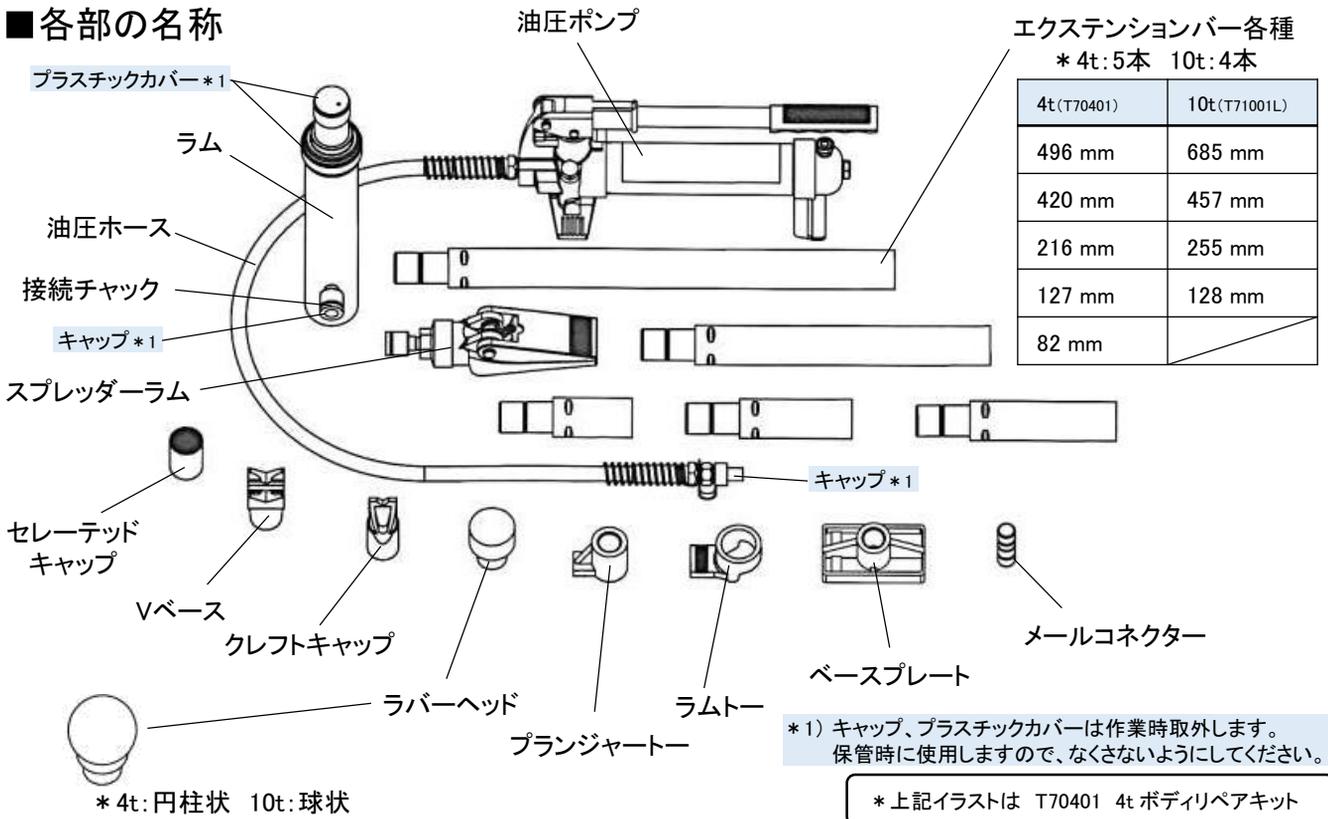
【重要】

本製品は、ラムと油圧ポンプの接続や、傾いた状態での使用等で、油圧システム内にエアが混入する場合があります。作業前に必ずエア抜き作業を行ってください。また、作業中に違和感のある場合は作業を中断し、エア抜き作業を行ってください。* 次頁「エア抜き方法」参照

■メンテナンスについて

- 各摺動部・接続部を確認し、定期的に給油をしてください。
- 使用の前に、アタッチメント類に割れや曲がり等の損傷がないか必ず点検してください。また、ラム・油圧ポンプ・油圧ホースに割れや曲がり、オイル漏れ等の損傷がないか必ず点検してください。
- 点検時、または作業時に異常が見られましたら、本製品の使用を中止して直ちに買い上げの販売店に修理依頼をしてください。そのまま使用し続けると、本製品の破損および重大な事故につながる危険があります。

■各部の名称



■エア抜き方法

- ラムと油圧ポンプを接続してください。エア抜き作業中は油圧ポンプは水平に設置してください。
- ラムをポンプよりも低い位置に置き、ラムの接続チャックが上を向くようにしてください。また、油圧ホースがラムと油圧ポンプの間から出ないようにしてください。
(ラムの中のエアが油圧ホースを上がり、油圧ポンプの中へ上がっていくイメージ)
- リリースバルブを閉じ、ポンプを漕ぎ、ラムを一杯まで伸ばしてください。
(接続部が漏れていないことを確認してください。)
- リリースバルブを開け、ラムを縮めてください。
- エア抜きキャップを緩め、油圧ポンプ内の内圧を調整して、エア抜きキャップを締めてください。
(油圧ポンプが傾いていると、オイルが飛び出る場合があります。)
- 上記作業を数セット行ってください。エア抜き作業終了後、作業に違和感のある場合は、再度エア抜き作業を行ってください。

■油圧ポンプのオイルについて

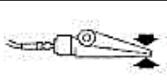
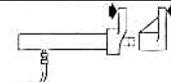
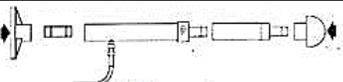
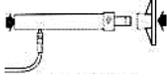
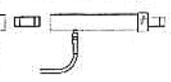
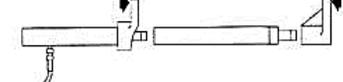
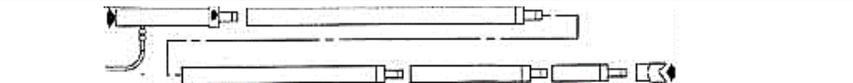
- 油圧ポンプを水平に置いた状態で、エア抜きキャップを外してください。
- キャップを外した穴から中ののぞき、油面が約1cmほどあれば適量です。減っている場合は補充してください。

使用オイル: 作動油 ISO VG15

■使用方法

1. 油圧ホースとラムの接続チャックのキャップを外し、ラムと油圧ポンプを接続してください。
 接続部より、オイル漏れがないか確認してください。
2. 作業に適したアタッチメントを選択後、ラムのプラスチックカバーを外し、接続してください。
 接続は、奥までしっかりと挿入してください。ラムのプラスチックカバーはシリンダーロッド先端とラムボディのネジ部の2か所あります。
3. リリースバルブを閉め、油圧ポンプのハンドルを上下に漕いでください。
 ラムを伸ばす際は対象物の状況を確認し、ゆっくりと行ってください。
4. 作業が終了したら、リリースバルブをゆっくりと開けてラムを縮めてください。
 ラム・アタッチメントが落下しないように支えながらゆっくりと縮めてください。
5. 全ての作業が完了したら、アタッチメントを外して、ラムと油圧ポンプの接続を解除してください。
 油圧ホースと、ラムの接続チャックにキャップを取付けてください。

■アタッチメント接続例と耐荷重について

 最大荷重 0.5t	 ラム最大荷重の50%	 ラム最大荷重の50%
 ラム最大荷重の100%	 ラム最大荷重の100%	 ラム最大荷重の25%
 ラム最大荷重の25%		 ラム最大荷重の50%
 ラム最大荷重の6%		

【重要】

上記の数値はあくまで参考値です。
 対象物へのかけ方によっては上記数値以下の圧力でもアタッチメントが破損する場合があります。
 また、経年または使用頻度により壊れやすくなります。
 力のかかる場所をアタッチメントの中心部にかけるようにしてください。

■部品供給について

各アタッチメントは、消耗品のため、補給部品をご用意しております。
 また、油圧部品(ラム・油圧ポンプ)は分解修理を致しておりません。アッセンブリ交換になります。
 各部品が必要な場合は、お買い上げの販売店にご注文ください。



株式会社 レックス
 〒501-0231 岐阜県瑞穂市野白新田55-1